

通信大会における注意事項

本大会は、全国大会参加標準記録突破指定大会及び学年別種目の近畿大会選考会となっています。普段から周知はしていますが、以下の注意事項について、各団体で改めての徹底をお願いします。

- ① 競技場内（室内練習場）での練習ができるのは、「当日試合がある選手のみ」です。付き添い・応援等の選手は、競技場内（室内練習場含む）での練習はできません。また、練習時に入場できるのは「第2ゲート（1500mスタート付近）のみ」です。「マラソングート」は、招集場への入口となっていますので、入ることができません。
- ② 競技用シューズについて、大阪中体連ホームページ及び大会プログラムに記載の通り、規定に適合したシューズを着用してください。審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合があります。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になることがあります。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合があります。
- ③ 本大会では、競技者係で「一次コール」を行います。プログラムに記載の「競技者の招集について」を熟読してください。一次コールに遅れた者は、出場する意思がないものとして処理します。
- ④ 競技エリア内に、ビデオ装置・携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器等を持ち込むことはできません。また、競技エリア内で助力を与えたり、受けたりしている競技者は失格の対象となります。

ただし、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像を、

- | |
|---|
| <p>A メインスタンド前ピットで行われる走幅跳・三段跳では、録画再生機器等を<u>メインスタンドの指定されたエリア</u>から、規定に基づいて各自、各チームで作製した「吊り下げ紐付き袋」、あるいは大会本部が用意した「吊り下げ紐付き袋」を使用した場合のみ</p> <p>B それ以外の場所での跳躍競技および投擲種目では、<u>あらかじめ定められたエリア</u>の中で、録画映像を提供する者から受け渡し可能な範囲</p> |
|---|

であれば、競技者は撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にすることは可能です。ただし、通信通話機能の使用は、競技規則により禁止です。上記、_____部分のエリアについては、追ってお知らせします。

- ⑤ トラック競技における連呼応援（集団応援）や、フィールド競技における試技開始時の競技者の発声に対する集団の応答応援（「行きまーす！」「はいー！」）は、スターターのコールやアナウンサーの通告、リレーの受け渡しの声が聞こえない場合があるので、競技運営に影響しないよう、配慮してください。また、手拍子については決勝のトップ8以降のみとします。